



新庄まつり
宵まつりの様子

最上総合支庁ニュース

2025年8月号

山形県最上総合支庁



発行元 最上総合支庁総務企画部
総務課 総合案内窓口
電話：0233-29-1360
FAX：0233-23-2605



アプリ不要！スマホで簡単♪「MOGAMIぐるっとデジタルスタンプラリー」



新庄・最上地域の8市町村をぐるっと巡るスタンプラリーを開催！スマホやタブレットから、アプリのダウンロード不要で簡単に誰でも参加できます。

スポットは通常スポット60ヶ所、特別スポット8ヶ所（新庄まつり期間限定スポット1ヶ所・各市町村おすすめスポット7ヶ所）の計68ヶ所を設定しています。新庄・最上をたくさん巡って、豪華賞品を当てよう！

■期間：8月9日（土）～11月9日（日）

■場所：新庄・最上地域の8市町村

■参加方法：① 二次元コードから専用ページへ進み、エントリーボタンで参加登録



② 専用ページを開き、スポットを巡り、スタンプをゲット

③ 専用ページの応募フォームからプレゼント抽選に応募

参加はこちらから

新庄まつり270年祭

毎年8月24・25・26日の3日間、新庄市で開催される新庄まつり。2025年は新庄開府400年・新庄まつり270年祭の節目の年です。記念事業として、直木賞作家 今村翔吾先生プロデュースの「羽州ぼろ鳶組ダンスパレード」や、「新庄まつり270年祭デジタルスタンプラリー」も行われます。

■羽州ぼろ鳶組ダンスパレード

開催日時：2025年8月24日（日）

■新庄まつり270年祭デジタルスタンプラリー

開催期間：2025年8月1日（金）

～8月31日（日）

勇壮にして華麗な3日間、是非お越しください。



新庄まつり270年祭
HP



高速道路を使って GO! やまがた秋のドライブ謎解きスタンプラリー

村山、最上、置賜の3地域を巡るスタンプラリーです。

各スポットで二次元コードを読み取り、スタンプを集めると素敵な賞品が当たります。また、1スタンプで1文字取得でき、34文字（全34スポット）集めると謎の問題文が完成。解答して正解すると、抽選で豪華宿泊券プレゼント！

■期間 9月12日（金）～11月30日（日）

■スポット 村山18箇所、最上8箇所、置賜8箇所の計34スポット

《最上エリアのスポット》 アクティビティと特産物が充実！

- ・産直まゆの郷、・街角交流施設 マルコの蔵、・ヤナ茶屋もがみ
- ・舟形若あゆ温泉、・まむろ川温泉 梅里苑、・カルデラ温泉館
- ・鮭の子館、・最上峡芭蕉ライン観光(株)船番所

クーポン付き
スポットも
あります。

[観光振興室 29-1311]

新庄・最上ジモト大学 2025 開校！

“高校生が旅立つ前に学ぶコト”をキャッチフレーズに、学校では学べない、地元のヒト・モノ・コトを地域の大人と一緒に学ぶ「新庄・最上ジモト大学プログラム」が今年度もスタートしています。

ポスター・パンフレットのデザインは、例年どおり高校生が行っており、今年度は新庄北高等学校と新庄南高等学校の生徒計4名で協力して作成しました。「百花繚乱 ～掴め希望、戦え青春の乱～」をテーマに、まるで戦国時代の動乱のような高校生活の中で、ジモト大学で得た経験や出会いを『龍』で表し、それを味方につけこれからの人生に立ち向かう様子を表現した、素敵なデザインとなっております。

今年度は、行政プログラム25、地域プログラム15、高校生企画プログラム2の全42プログラムを用意し、順次実施してまいります。〔連携支援室 29-1236〕

アグリウーマン
Presents おもしろ
農業やってみっぺ
8月31日
開催予定



大人博覧会
「子供たち、さあ
大人を見ろ！」
9月13日
開催予定



パンフレットデザイン

最上地域みんなで子育て応援団 *MOCO マルシェを開催

7月5日（土）、新庄市の最上広域交流センターゆめりあにて、「～最上地域みんなで子育て応援団～moco（モコ）マルシェ」※を開催し、親子連れの方々など200名以上の方が参加してくれました。

第1部は「あきらちゃん＆ジャンプくん」による歌と踊りのステージショー。「HAPPY♪HAPPY♪おめでと～う♪」の歌に合わせてみんなでお友達を祝うなど、こどもも大人も一緒に歌って、踊って、会場は大いに盛り上がりました！

第2部のマルシェでは、高校生出展の紙コップタワーや大道芸体験、お宝ゲットだぜ～♪の輪投げ、環境科学センターさんのジャイロヒコーキ制作など、ワクワクするような体験ブースが盛りだくさん！親子で楽しい時間を過ごしていただくことができました！

次回は、10月25日（土）に親子向けスポーツイベントを開催します。お楽しみに～♪

※最上地域みんなで子育て応援団は、地域全体で子育てを応援する団体です。

構成メンバーである子育て支援団体・地域・企業・行政等が連携し、子育て情報の提供や子育て支援事業等を行っています。〔こども家庭支援課 29-1245〕



子育て応援団サイト



ホームページ インスタグラム

高校生が真夏の激闘！ 第6回最上小国川鮎釣り甲子園大会開催！

7月21日、最上小国川の関大橋（舟形町）付近で、**第6回最上小国川鮎釣り甲子園大会**を開催しました。昨年度は天候不良で中止となったため2年ぶりの開催となりましたが、最上地域内外から計37名の高校生が集まり、快晴の中初めての鮎釣りに熱中！地元の鮎釣り名人の指導のもと、気温に負けない熱戦を繰り広げました。

大会結果は以下のとおりです。入賞者にはトロフィーのほか、副賞として舟形町・最上町の特産物詰め合わせ等を贈呈しました！（参加者全員には参加賞と、舟形町長より地元産野菜の振る舞いも！）

【大会結果】

- 🏆第1位 新庄東高校1年 沼澤椋さん、高橋優翔さん
- 🏆第2位 新庄東高校1年 伊東弦汰さん、奥山莉来さん
- 🏆第3位 山形南高校2年 結城光咲さん、矢口陽登さん

参加した高校生からは、「鮎釣りの楽しさや奥深さを学んだ」「地域の人との関わり方を学ぶことができた」等の声をいただいております。本大会を通して、ふるさと最上への愛着を深めていただくことができました！〔連携支援室 29-1238〕



大盛況！地元高校生が考案した「地産地消定食」〔最上総合支庁 1階食堂〕

7月16日、最上総合支庁1階食堂で、新庄神室産業高校ライフクリエイイト部の皆さんが考案した地産地消定食が提供されました。メニューは、新庄市立本合海小学校の児童が育てた最上伝承野菜の「畑なす」を使ったタコライスのほか、地元産の農産物をふんだんに使ったメニューです。当日はライフクリエイイト部の皆さんから、お弁当の配達やアンケート配布などのお手伝いをしていただきました。

定食を食べた方からは、「最上伝承野菜をうまく使ったメニューだった」「メニューそれぞれに個性があり、素材を上手く引き出していた」などの感想が聞かれました。

来年1月には、新庄東、2月には新庄北・南高の皆さんが地産地消メニューを提供予定です。



[農業振興課 29-1315]

地域を支えるダムの役割を学ぶ小学生「神室ダム見学会」

6月20日、金山町立金山小学校の4年生約40名が、地元にある神室ダムを訪れました。

神室ダムは金山川上流にある多目的ダムで、子どもたちはその重要な役割を学びました。その役割は洪水の防止、流水の正常な機能の維持（川の生態系を守ったり、沿川の農作物に水を供給したり、水道用水の供給、水力発電といった生活に直結したものです。

河川砂防課職員の説明の後、普段立ち入ることができないダムの内部を探検し、トンネルのような監査廊や急な階段を通りました。初めての経験に少し怖がっていた児童もいましたが、特別な体験になったと思います。

子どもたちはダム内部が一年を通じ一定の温度であること、自分たちが歩いている場所はダム湖の水の中であることを聞き驚いていました。

この体験を通じて、ダムがいかに身近な存在で大事なものであるかを理解していただけたかと思います。

[河川砂防課 29-1413]



県内外から17名が参加「もがみ野菜新規就農ツアー」

8月2日、最上地域で新規就農を検討している方々を対象に、このたび初めての企画として「もがみ野菜新規就農ツアー」を開催しました。県内外から10代～60代の学生、社会人の方々17名が参加し、最上地域の主要野菜であるトマト、きゅうり、にら、ねぎの圃場をバスでまわりました。

農業者の方々から、各品目の特徴や農業経営の魅力についてお聞きし、参加者からは、「農業者の方から直接話を聞くことができ、大変参考になった」「野菜栽培の大変さ、忙しさが伝わったが、それ以上に魅力も感じた」等の意見が出されました。

今回参加していただいた方々を含め、新規就農を目指す方々に対し、今後も経営開始・定着に向けた支援を行ってまいります。



[農業振興課・農業技術普及課 29-1324]

いちずに、かじつ。最上「やまがた紅王」出荷研修会

6月23日、最上総合支庁産地研究室で『「やまがた紅王」出荷研修会』を開催しました。

山形県のオリジナル新品種「やまがた紅王」について、「大きさ」「味」「色」等の基準を満たしているか確認するとともに、高品質の果実を消費者の皆さんにお届けするために、ダイヤパックに詰める練習を行いました。

国内最大級の大玉さくらんぼを詰めるのは難しく、最初は苦戦しましたが、参加した生産者、農林大学校学生も、果実にいちずに取り組む者同士でアドバイスし合いながら、最後には上手に詰めることができました。

最上さくらんぼブランド確立プロジェクト推進会議（会長：最上総合支庁産業経済部長）では、今後も高品質なさくらんぼの産地としてのブランド確立に取り組んでまいります。

〔農業振興課 29-1315〕



やまがた移住・交流フェア 2025 で最上を PR（東京交通会館）

6月14日、東京交通会館で、山形県最大の移住イベントである「やまがた移住・交流フェア 2025」が開催されました。

最上地域の8市町村もブースを出展し、移住を検討している来場者に対し、自治体の魅力をアピールしたほか、仕事や住まいなど、移住に関する疑問や悩みにお答えしました。中には、実際に体験移住が決定したご家族もいらっしゃいました！



また、最上地域独自の取組みとして、地域で活躍する方を来場者に紹介する「会に行ける人カード」を作成し、会場で配布しました。

最上地域は8市町村で一つの生活圈を作っており、地域一体となった移住施策が効果的と考えます。

今後も、オール最上で移住促進・情報発信に取り組んでまいります。

〔連携支援室 29-1239〕

最上地区放課後子ども指導者等研修会開催

6月17日、最上総合支庁講堂にて「第1回最上地区放課後子ども指導者等研修会」を開催し、放課後児童クラブや放課後子ども教室の支援員など74名が参加しました。



昨年に引き続き、県立保健医療大学の佐竹 真次特任教授を講師にお迎えし、「気になる子と保護者への理解と支援」をテーマに、発達障がいに関する基本的な知識の他、発達障がいを有する子やその周囲の方々への支援の在り方について学びました。今回はワークショップの時間を設け、参加者同士が交流を深めながらワークシートに取り組んでいました。

参加者からは「先生の経験をふまえてのお話はとても勉強になった」、「障害について改めて深く理解することができた」などの感想が寄せられました。

県では、今後とも放課後児童クラブ・放課後子ども教室の支援員等の資質向上に取り組んでまいります。

〔こども家庭支援課 29-1221〕

乳幼児急病時の対処法を学ぶ講習会開催

乳幼児の体調が急変した際の、受診の目安や心肺蘇生法を小児科の先生と救急救命士の方から学ぶ小児救急講習会を、6月26日と7月11日に最上町の子育て支援センターひまわりで開催しました。日頃から、いざという時のための対処法について確認しておきましょう。〔保健企画課 29-1257〕

子どもの病気・けがガイドブック



● 6/26 座学講習 ●
講師：新庄病院 仁木先生

受診のポイントは
「こいしい水の3カ月」
（呼吸おかしい・意識なし・水分とれない・3カ月未満の乳児）



● 7/11 実技講習 ●
講師：最上広域消防本部
加藤指導救急救命士

一次救命は**ためらわないで！**救命のチャンスが格段に高まります。

令和6年7月の大雨災害による被害の復旧状況をお知らせします

令和6年7月の豪雨災害について、各地で順次災害復旧工事が開始されており、7月末現在、27箇所が工事完了しております。引き続き、関係市町村と連携をとりながら、速やかな復旧を目指してまいります。

【各被災施設等の査定結果及び災害復旧工事の発注状況（県施工分：令和7年7月末）】

	査定決定		契約状況		執行率(%)	
	箇所数 (a)	国庫補助 対象額(億円) (b)	箇所数 (c)	国庫補助 対象額(億円) (d)	箇所 (c/a)	額 (d/b)
公共土木施設	394	179.3	167	64.3	42.4	35.9
県管理道路	93	31.2	72	18.6	77.4	59.6
県管理河川・砂防	301	148.1	95	45.7	31.6	30.9
治山事業	8	21.6	5	10.2	62.5	47.2



う回路の設置

【道路】鯉川村京塚地内



堤防の復旧

【河川】新庄市本合海地内



施工中の法岸工

【治山】鯉川村京塚地内

『令和6年豪雨災害 最上地域復旧工事デジタルマップ公開中』

◆災害復旧工事個所の進捗状況（未施工、施工中、施工済）が地図上で確認できます。

道路災害復旧工事箇所マップ ▶▶



○河川災害復旧工事箇所マップ▶▶



[地域産業経済課 29-1303、道路計画課 29-1399、最上地域豪雨災害復旧対策室 29-1443]

総合支庁ってどんなところ？「最上総合支庁こども見学デー」

8月7日、子どもたちに県職員の仕事を知ってもらうため、小学生を対象にした「最上総合支庁こども見学デー」を初めて開催し、支庁職員の子ども12名が参加しました。

子どもたちは、支庁長室に入り齋藤支庁長とお話をしたほか、普段入ることができない木質チップボイラー棟を見学しました。また、お父さん・お母さんの職場で職員と名刺交換をしたり、デスクに座りパソコン操作をするなどしました。

このほか、動物愛護センターを見学しながら、野良猫などを保護して里親探しにつなぐまでの業務について学び、子どもたちは熱心に耳を傾けていました。

参加した子どもたちからは、「総合支庁では困っている人を助ける仕事などたくさんの仕事をしていることがわかった。」「仕事をしているお父さん・お母さんがかっこよかった。」といった声が聞かれました。子どもたちに伝えることを通して、職員のモチベーションアップにもつながったようです。

今後も、若いうちから県の仕事や地域での取組みに興味を持っていただけるよう、情報発信に力を入れてまいります。



[総務課 29-1213]

新庄まつり期間中「おむつ交換スペース」等を提供します

地域における子育て支援事業として、新庄まつりの期間中に下記の日程で「**幼児用トイレ、授乳・おむつ交換スペース**」を提供いたします。

是非多くの皆さまに活用していただき、新庄まつりを親子で楽しんでいただけたら幸いです♪

日時：8月24日（日）18:00～20:00

：8月25日（月）10:00～17:00

：8月26日（火）10:00～17:00

場所：子育て支援センターmoco's

（新庄市本町1-7

南本町十字路近く、スタイルハート内）

〔こども家庭支援課 29-1245〕

屋外広告物適正化旬間です！

9月1日（月）～9月10日（水）までは、屋外広告物適正化旬間です。

近年、屋外広告物（看板）の老朽化・整備不備により、全国各地で倒壊や破損による事故が相次いでいます。

自宅敷地の看板であっても点検義務がありますので、今一度看板の点検をお願いいたします。

〔建設総務課 29-1376〕



暑い時期、**食中毒**にご注意しましょう！

夏季には細菌性食中毒が多くなります。細菌性食中毒の防止のポイントは、「**つけない**」、「**ふやさない**」、「**やっつける**」の3つです。これらのポイントを実践に実施し、楽しく夏を過ごしましょう。

○「つけない」

- ・手洗いを十分に行い、菌を除去しましょう。
- ・バーベキューでは、箸を使い分けましょう。

○「ふやさない」

- ・菌の増殖を防止するため、**常温放置は厳禁！**食品は冷蔵庫（10℃以下）で管理しましょう。

○「やっつける」

- ・食品（特にお肉）はしっかり加熱（中心部まで熱がとおるのを確認）しましょう。



〔保健企画課生活衛生室 29-1261〕

9月24日（水）～30日（火）は**結核・呼吸器感染症予防週間**です！

結核は過去の病気ではありません。日本では近年、80歳以上の高齢者と若年の外国人患者が増えています。症状は長引く咳や痰、微熱、だるさのほか、食欲不振や体重減少などの「結核」を疑う明らかな症状がない場合もあります。年に1回は健診等で胸部X線検査を受け早期発見に努めましょう。

また、これからの季節、インフルエンザ等の呼吸器感染症が流行を迎えます。結核を含む呼吸器感染症は空気を通して広がります。予防のためにも日々の感染対策に努めましょう。

【感染対策のポイント】



〔保健企画課 29-1268〕

若いあなたの命を守るために

～**無料でがん検診**を受けてみませんか～

最上町の大場組から『健康長寿県やまがた推進基金』に、毎年多額の寄付をいただいております。

県ではその基金をもとに、20代から30代の若者を対象にがん検診・検査の無料体験、健康教室の事業を継続して行っています。まだ受診経験のない方は、ぜひこの機会に受診してみませんか。

また、40代以上の方は、毎年、職場や市町村でがん検診を受診しましょう。

【**大腸がん検診+下記の検診・検査を体験できます**】

○大腸がん検診（必須）

○肺がん検診（希望者）

＋○胃がん検査（希望者）※5年に1度

○乳房超音波検査（女性希望者）

★予約と検査の詳細は県HPをご確認ください↑



〔地域健康福祉課 29-1267〕

9月は**健康増進普及月間**です



1に運動 2に食事 しっかり禁煙 良い睡眠 ～健康寿命の延伸～

生活習慣病の予防には、定期的な運動・バランスの良い食事・禁煙や受動喫煙の防止、多量の飲酒を控えるなど、日々の積み重ねが大切です。



- ★プラス10分体を動かす
- ★禁煙外来を受診
- ★減塩商品を使う



この機会に自分の生活を見直してみましょう！

〔地域健康福祉課 29-1267〕